

キラ・ニコ・ドン・パッ

キラキラ輝く子ども。ニコニコ笑顔の子ども。ドンドン挑戦する子ども。パッと行動する子ども。

不審者対応避難訓練

6月24日(水)2時間目、不審者対応の避難訓練を行いました。不審者役は大野駐在所の久米さんです。また、唐津警察署生活安全課の圓城寺さんもお指導においでくださいました。

①



職員室から職員が挨拶をする
と普通に「こんにちは」と挨拶あり。玄関が施錠中だったため、校長室横から侵入。

②



対応した教頭に「甥っ子に鍵ば渡しに来た」と話す。「預かります」と言うが「鍵は大事かけん預けれん」と拒否。

「ぎんなん放送、
玄関から東階段」
(同時に110番)

③



教頭が進路を阻むように階段前に割って入る。「代わりに渡します」と言っても「信用できません」と静止に応じない。

④



どんどん進む相手に何とか進行を食い止めようと試みるが…。

⑤



図書室前で押し問答。放送を聞いて職員がさすまたを持って駆け付ける。

⑥



さすまたを見て興奮し、刃物を出す相手。とっさに身をかかわす教頭。職員室やあじさい学級から職員も応援に駆け付ける。

⑦



確保の瞬間

⑧



講話を真剣に聴く子ども達。



講評と講話のお礼を言いました

放送の聴き方や移動、身のひそめ方等、子ども達の日頃の生活面の素晴らしさが活かされた大変スムーズな避難でした。終了後は、管理職が圓城寺さんや久米さんから職員の動きについて指導を受けました。今回、一か所に集まる避難ではなく、それぞれの教室やベランダ等に身をひそめる方法をとりましたので、それがベストな避難だったかどうか等、職員で、今回の訓練の振り返りをします。
→裏面に圓城寺さんと久米さんの話の要約を掲載しています。

<本校最長兄姉配布>



唐津警察本部
生活安全課
圓城寺さん

- あいさつは必殺技。挨拶の溢れる学校や地域では、顔を覚えられることや大人に言いつけられることを嫌い、不審者が近寄らなくなります。だから、元気に挨拶をしましょう。
- 不審者から身を守ることは子ども達だけでは難しいときもあります。登下校の時など、先生がいないとき、不審者やそれらしい人がいるなあと感じたら、反対の方向に逃げましょう。逃げるときのゴールは、黄色いステッカーの「こども110番の家」か、挨拶を通して知り合いになった方の家です。みんながあなた達を守ってくれます。
- 今年度、交通事故が多く発生しているので、気をつけてください。道路を横断するときは、横断歩道を安全を確認してからわたること。車は急には止まれません。1秒で約30mも進みます。



大野駐在所
久米さん

- とても挨拶が上手ですね。いつも元気な挨拶をしてくれて、ありがとう。
- 先日、伊岐佐小の子ども達らしい場面を見ました。下校途中にある男の子が倒れて膝をすりむいて座り込んでいました。すると、上級生の女の子が家から消毒液と傷テープを持ってきて貼ってあげました。また、上級生の男の子は「ランドセルを持ってあげるから、がんばって歩こう」と励ましてくれていました。お巡りさんは居ただけです。自分たちで解決していて、素晴らしいなあと思いました。
- こわい思いをしたときは、大きな声で「助けて」と言いましょ。そのためにも普段から大きな声であいさつをしていると自然と大きな声がだせるようになりますよ。